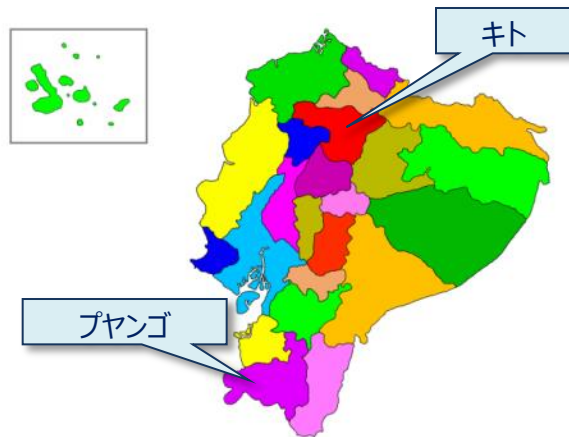


「グアインチェ桥梁建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「グアインチェ桥梁建設計画」のための、当館とプヤンゴ市による贈与契約署名式が行なわれました。

ロハ県プヤンゴ市アラモル自治区中心部から陸路約11kmの地区を流れるグアインチェ川には、1997年に建設された吊り橋がありますが、歩行者が一人渡るだけで上下左右の「たわみ」が激しく、大変不安定な状態です。村落側には地域の特産であるサトウキビやコーヒーの農場があり、同サイトを車両が通行できない現状は、農産物の市場への出荷など経済活動に大きく影響しています。また、同桥梁は、村落部側地域の住民にとって、医療機関への通院、教育機関への登下校、生活必需品の買い出し等のため、自治区中心部や隣接する街へ連絡する唯一の交通路であり、整備された桥梁なしには地域住民の生活は成り立ちません。

本計画は、前述の地区において1桥梁を建設することにより、安全な交通を確保し、地域住民の生活環境の向上に貢献しようとするものです。



供与額：6,463,650円
贈与契約締結日：2014年1月15日

計画実施前



署名式

